

（別紙様式４）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 8年 7月 31日※１
（前回公表年月日：令和 7年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467			
分野	認定課程名		認定学科名			専門士		高度専門士	
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科（エステティシャン）			平成29年文部科学大臣 認定		-	
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。								
認定年月日	平成30年2月28日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	1710	720		990	0	0	0	
生徒総定員		生徒実員		留学生数（生徒実員の内）		専任教員数		兼任教員数	
240		41人		0人		7人の内5人		37人の内27人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日				成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。			
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日				卒業・進級条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。			
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡を取り、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。				課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動			
						■サークル活動：有			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） TBCグループ株式会社、株式会社不二ビューティ、株式会社ソシエ・ワールド、株式会社スリムビューティハウス その他				主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和7年度卒業者に関する令和8年5月1日時点の情報)			
	■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。					資格・検定名種別受験者数合格者数			
	■卒業者数15人					AEA上級認定 エステティシャン③15人15人			
	■就職希望者数15人					ダイエット検定2級③15人15人			
	■就職者数15人								
	■就職率100%								
	■卒業者に占める就職者の割合								
:100%									
■その他 ・進学者数：0人 ・関係分野（エステティック業界）への内定率100%（就職希望者）									
(令和7年度卒業者に関する 令和8年5月1日 時点の情報)									
中途退学の現状	■中途退学者1名 令和7年4月1日時点において、在学者38名（令和7年4月1日入学者を含む） 令和8年3月31日時点において、在学者35名（令和8年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難				■中退率6.3%				
	■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理・カウンセラーの設置 ・保護者との連携（出席状況・成績通知）								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜)ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無								
当該学科のホームページURL	https://aie-jhm.jp/aie/								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

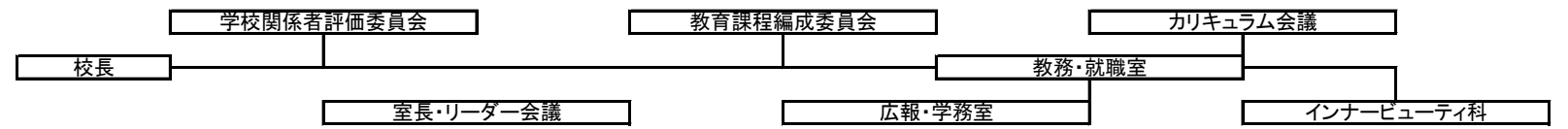
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を 提言する。

【学校組織図】アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ビアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

- (年間の開催数及び開催時期)
- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 16:15～17:15
【令和8年度】第1回 令和8年9月9日 13:30～予定 第2回 令和9年3月26日 13:30～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- 化粧品検定対策授業強化
→1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。
さらに2年生ではより専門的な知識身に付け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。
- メイクカウンセリング授業強化
→心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に付けメイクセラピー検定1級取得を目指す。
- 検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー
→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。
- 就職室から教務就職室へと体制強化
→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。
教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。
- 日直制度導入
→自主性や自発性を身に付けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。
3月18日第2回委員会ではシラバス・授業内容の改善・検定合格率についての報告と企業連携科目の審議を実施。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になる、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間:令和6年5月 対象:ネイル職員1名

内容:ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイル協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間:令和6年6月 対象:ブライダル職員1名

内容:フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間:令和7年12月 対象:職員2名

内容:JBCAについて／検定について／公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステティック職員2名

内容:実技試験における試験官のスキルUP／認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

AEA認定校勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員2名 エステティック職員2名

内容:エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間:令和7年3月 対象:エステティック職員1名

内容:認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編／有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

AEA上級認定エステティシャン

期間:令和7年3月 対象:アロマ職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

ダイエット検定

期間:令和8年7月 対象:エステティック教員1名

内容:ダイエットに関する正しい知識の習得／スキル・指導力を上げる 日本ダイエット検定協会

②指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間:令和4年7月 対象:職員1名

内容:クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける／リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間:令和4年9月 対象:職員1名

内容:分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計／学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間:令和7年3月 対象:職員全体

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和7年5月 対象: エステ、ネイル職員2名

内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間: 令和7年6月 対象: エステティック職員1名

内容: エステティック技術見学／サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間: 令和7年7月 対象: アロマ職員1名

内容: 耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和7年8月 対象: エステ職員2名

内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP／AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間: 令和7年12月 対象: 職員1名・エステティック職員2名

内容: 学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間: 令和7年12月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間: 令和5年8月 対象: 職員1名

内容: 新任教職員の指導・育成力を高める／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間: 令和5年9月 対象: 職員1名

内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間: 令和5年8月 対象: 職員2名

内容: 専修学校における職業教育／専修学校のあり方と授業実践／学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年10月 対象: 職員8名

内容: 働く女性のためのカラダケア／ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6)教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

〔ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()〕

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 エステティシャン専攻)2026年度															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○			○	
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○			○	
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1通	60	○			○		○		
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○		○		
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。 トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1通・2前	45	○			○			○	
6	○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通・2通	105	○			○			○ ○	
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前・2前	30	○			○			○	
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○		○		
9	○			化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分、メーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解します。 自分の目で多種多様なアイテムの中からお客様にあった化粧品を選ぶようになることが目的です。	1後・2通	45	○			○			○	

10	○		衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1後	15	○		○	○							
11			エステティック実技理論	エステティックの歴史や各国のエステを知り、様々なエステティックの施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学ぶ。また、ボディ・フェイシャルのお悩みに対する原因、肌や身体の分析の仕方やお悩み別トリートメント対応・機器・自宅ケア・食事・生活面のアドバイスなどを学びます。また、カウンセリングの基礎や目的を学び、お客様に寄り添った接客が出来るよう指導をする。	1通・2通	90	○		○	○	○						
12	○		サロンマネジメント&法規	サロン側のすべき言動、施術における顧客満足度を上げるためのカウンセリングの意味や方法、誤解のない技術提供をするにあたり、必要な法律について学びます。また人が生活していくうえで安全に買い物や契約ができるルールを学び、美容業界の商品や契約上、必要なものや取扱い等を学びます。会社経営と接客方針に対して学び、法律を理解します。	2前	15	○		○		○						
13	○		電気・機器学&美容脱毛学	皮膚や毛の構造、脱毛の歴史や電気脱毛の理論、自己処理のデメリットや脱毛技術を受けられない人・肌などの禁忌事項も学びます。エステティックに必要な電気機器や法規について学習し、また、美容電気機器を使用することで身体にどのような影響があるのかなど科学的根拠を学び、サロンにおいて使用する機器をお客様に説明することができるようになることが目標です。	2前	15	○		○				○				
14	○		薬膳入門	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることがカラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり自信を持つことが、周りの人をキレイにすることに繋がります。薬膳の専門用語を極力使わずに、わかりやすく薬膳の概要を学び、毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶので、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きます。	1前・2後	30	○		○				○	○			
15	○		販売心理学	技術だけになりがちなエステティシャンに経営の視野を学び、日々、施術料金、物販の販売をすることの大切さ、会社にとって販売が必要なことを学び、接客に活かせるよう学習します。	2後	30	○		○					○			
16	○		ビューティビジネス実務検定	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティコーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。	1前	15	○		○		○						
17	○		エステ資格取得対策	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認筆記試験合格、AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格に向けて模擬試験や問題の解説を実施。技術だけでなく、基礎知識の修得も条件となり、検定試験に合格することで自身が活躍できる幅を広げる事が出来ます。また、資格を持つ事によってお客様の「安心」につながり、「信頼」へと繋がります。	1後・2後	30	○		○		○						
18	○		化粧品検定	化粧品・美容に関する知識の向上を目指した検定です。肌悩みに応じた化粧品やメイク方法だけでなく、紫外線・食事・運動・睡眠など美肌に影響を与える要因についての基礎知識を学びます。知識を高めることで、よりコスメを楽しむことができるようになり、お客様へのアドバイスの幅も広がります。	2後	15	○		○				○				
19	○		ダイエット検定対策	エステティシャンとしてダイエットの知識は非常に重要な知識となります。現在、様々なダイエット法があり、ダイエット方法の変化が著しい現代であるからこそ基本的なダイエット知識を学習し、カリキュラム終了後にダイエット検定2級取得を目指します。	2前	15	○		○				○	○			

20	○				エステティック 実習	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」 です。技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。 技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の 対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。 また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケー ションが取れる人材育成をします。	1 前	60		○		○		○	○	
----	---	--	--	--	---------------	--	--------	----	--	---	--	---	--	---	---	--

21	○		エステティック ボディ実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の身体悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1 後・2 前	120		○	○	○	○		
22	○		エステティック フェイシャル 実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の肌悩みに合わせて提供することができるように学んでいきます。	1 後・2 前	180		○	○	○	○		
23	○		エステティック 応用実技	エステティシャンとして即戦力として対応できる知識を学んでいくことが応用実技の目的です。 主にエステティックで必要な、あらゆるボディオプションや機器・技術の向上を目指します。	2 後	75		○	○	○	○		
24	○		サロン運営	学内サロン運営を目標とした実習授業です。授業内では、企業の店舗と同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリングと必要な技術の提案後、技術提供してから自宅でのアドバイスや施術の必要な来店頻度などを一連の流れに沿って実践します。定期的な一般のお客様をお呼びし、代金を授受できる学生サロンを開き、実践力を身につけます。	2 通	180		○	○	○	○		
25	○		ダイエット 実習	サロンにおいてダイエットや痩身のニーズは非常に多くあります。カウンセリングの際、ホームケアアドバイスの一部となる「運動」を実践形式を踏まえながら、運動の種類や内容、そしてケースヒストリーを元に運動メニューをプログラムしていけるように目指します。	2 後	15		○	○		○	○	
26	○		アロマベーシッ ク	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1 前	15		○	○		○	○	
27	○		ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1 前	15		○	○		○		
28	○		リフレクソロ ジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15		○	○		○	○	
29	○		アロマコーディネ ーターライセンス検 定対策	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法、試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。様々な精油の身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きを学びます。	1 後	45		○	○		○	○	
30	○		メイク&ヘア アレンジメント 実習	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1 前	45		○	○	○	○		

31	○			アウター ビューティ レッスン	1年時はメイクアップとヘアアレンジの基礎を実習を通して学びま す。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々な シチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エス テティックの仕事の幅を広げることを目標としています。	2 後	45		○		○				○	
----	---	--	--	-----------------------	---	--------	----	--	---	--	---	--	--	--	---	--

（別紙様式４）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 8年 7月 31日※１
（前回公表年月日：令和 7年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																									
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																									
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																																									
分野	認定課程名		認定学科名			専門士		高度専門士																																							
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科（アロマ＆セラピスト）			平成29年文部科学大臣 認定		-																																							
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																																														
認定年月日	平成30年2月28日																																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																																							
2 年	昼間	1710	480		1230	0	0	0																																							
生徒総定員		生徒実員		留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数		総教員数																																							
240		12人		0人	7人の内5人	37人の内27人		44人の内26人																																							
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日				成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。																																									
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日				卒業・進級条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																																									
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。				課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動：有																																									
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） 株式会社オーリーブスパ、株式会社リフレッシュ、株式会社アンピールその他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 <table><tr><td>■卒業者数</td><td>13</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職希望者数</td><td>13</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職者数</td><td>13</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職率</td><td>100</td><td>%</td></tr><tr><td>■卒業者に占める就職者の割合</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>100</td><td>%</td></tr></table> ■その他 ・進学者数：0人 ・関係分野（リラクゼーション業界）への内定率100%（就職希望者） (令和 7 年度卒業者にに関する 令和8年5月1日 時点の情報)				■卒業者数	13	人	■就職希望者数	13	人	■就職者数	13	人	■就職率	100	%	■卒業者に占める就職者の割合				100	%	主な学修成果（資格・検定等）※3		<table><tr><td>資格・検定名</td><td>種別</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>リフレクソロジー・ボディケア実技士</td><td>③</td><td>13人</td><td>11人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 特になし			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	リフレクソロジー・ボディケア実技士	③	13人	11人												
■卒業者数	13	人																																													
■就職希望者数	13	人																																													
■就職者数	13	人																																													
■就職率	100	%																																													
■卒業者に占める就職者の割合																																															
	100	%																																													
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																												
リフレクソロジー・ボディケア実技士	③	13人	11人																																												
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 令和7年4月1日時点において、在学者38名（令和7年4月1日入学者を含む） 令和8年3月31日時点において、在学者35名（令和8年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携（出席状況・成績通知）																																														
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無																																														
当該学科のホームページURL	https://aie-jhm.jp/aie/																																														

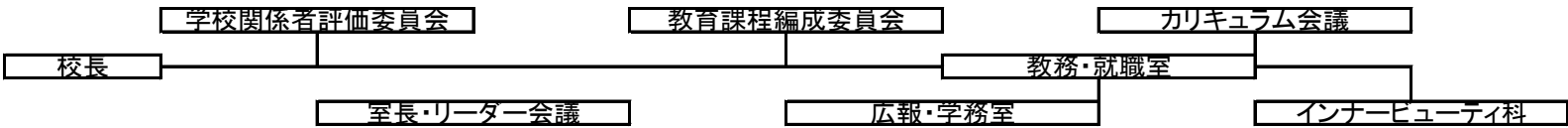
1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。
委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案
や新規導入を 提言する。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ビアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))
【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 16:15～17:15
【令和8年度】第1回 令和8年9月9日 13:30～予定 第2回 令和9年3月26日 13:30～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- 化粧品検定対策授業強化
→1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。
さらに2年生ではより専門的な知識身に付け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。
- メイクカウンセリング授業強化
→心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に付けメイクセラピー検定1級取得を目指す。
- 検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー
→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。
- 就職室から教務就職室へと体制強化
→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。
教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。
- 日直制度導入
→自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科的教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。
授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。
授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り議論する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間:令和6年5月 対象:ネイル職員1名

内容:ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイル協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間:令和6年6月 対象:ブライダル職員1名

内容:フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間:令和7年12月 対象:職員2名

内容:JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステティック職員2名

内容:実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

AEA認定校勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員2名 エステティック職員2名

内容:エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間:令和7年3月 対象:エステティック職員1名

内容:認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編/有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

②指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間:令和4年7月 対象:職員1名

内容:クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間:令和4年9月 対象:職員1名

内容:分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間:令和7年3月 対象:職員全体

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間:令和7年5月 対象:エステ、ネイル職員2名

内容:エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間:令和7年6月 対象:エステティック職員1名

内容:エステティック技術見学／サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間:令和7年7月 対象:アロマ職員1名

内容:耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステ職員2名

内容:AEA実技試験における試験官のスキルUP／AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員1名・エステティック職員2名

内容:学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間:令和7年12月 対象:エステティック職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

②指導力の修得・向上のための研修等

新仕指導力(メンタリング)

期間:令和5年8月 対象:職員1名

内容:新任教職員の指導・育成力を高める／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間:令和5年9月 対象:職員1名

内容:リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間:令和5年8月 対象:職員2名

内容:専修学校における職業教育／専修学校のあり方と授業実践／学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間:令和5年10月 対象:職員8名

内容:働く女性のためのカラダケア／ストレスとの上手な付き合い方を考え 適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか
(10) 社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

〔ホームページ〕・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()
URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>
公表時期: 令和8年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)教育理念・目標	ているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6)教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

【ホームページ】・広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 アロマ&セラピスト専攻)2026年度														
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○			○
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○			○
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1通	60	○			○		○	
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○		○	
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。 トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1通	30	○			○			○
6	○			生理学	人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通・2通	60	○			○			○ ○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前	15	○			○			○
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○		○	

9	○		化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分、メーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解します。自分の目で多種多様なアイテムの中からお客様にあった化粧品を選ぶようになることが目的です。	2 後	15	○			○			○	
10	○		衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1 後	15	○			○			○	
11			エステティック実技理論	エステティックの歴史や各国のエステを知り、様々なエステティックの施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学ぶ。また、ボディ・フェイシャルのお悩みに対する原因、肌や身体の分析の仕方やお悩み別トリートメント対応・機器・自宅ケア・食事・生活面のアドバイスなどを学びます。また、カウンセリングの基礎や目的を学び、お客様に寄り添った接客が出来るよう指導をする。	1 通	45	○			○			○	
12	○		サロンマネジメント&法規	サロン側のすべき言動、施術における顧客満足度を上げるためのカウンセリングの意味や方法、誤解のない技術提供をするにあたり、必要な法律について学びます。また人が生活していくうえで安全に買い物や契約ができるルールを学び、美容業界の商品や契約上、必要なものや取扱い等を学びます。会社経営と接客方針に対して学び、法律を理解します。	2 後	15	○			○			○	
13	○		電気・機器学&美容脱毛学	皮膚や毛の構造、脱毛の歴史や電気脱毛の理論、自己処理のデメリットや脱毛技術を受けられない人・肌などの禁忌事項も学びます。エステティックに必要な電気機器や法規について学習し、また、美容電気機器を使用することで身体にどのような影響があるのかなど科学的根拠を学び、サロンにおいて使用する機器をお客様に説明することができるようになることが目標です。	2 前	15	○			○			○	
14	○		薬膳入門	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることがカラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり自信を持つことが、周りの人をキレイにすることに繋がります。薬膳の専門用語を極力使わずに、わかりやすく薬膳の概要を学び、毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶので、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きます。	1 前・ 2 後	30	○			○			○	○
15	○		ビューティビジネス実務検定	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティコーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。	1 前	15	○			○			○	
16	○		エステ資格取得対策	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認筆記試験合格に向けて模擬試験や問題の解説を実施。技術だけでなく、基礎知識の修得も条件となり、検定試験に合格することで自身が活躍できる幅を広げる事が出来ます。また、資格を持つ事によってお客様の「安心」につながり、「信頼」へと繋がります。	2 後	15	○			○			○	
17	○		アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1 前	15		○		○			○	○

18	○			アロマコーディネーターライセンス検定対策	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また日常生活で安全に活用できる実践的な方法、試験内容に準じた授業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。様々な精油の身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きを学びます。	1 後	45		○		○				○	○
----	---	--	--	----------------------	--	--------	----	--	---	--	---	--	--	--	---	---

19	○			アロマセラピー	1年時はアロマセラピーの基礎理論を中心に学びます。お客様に提案するための知識や香りを安全に活用する方法を中心に学び授業終了時に「アロマコーディネーター」資格取得に向け試験を受験します。2年時は1年生で学んだ基礎と復習の後、香りと心理の関係性やお客様に香りを提案する際のカウンセリングスキル向上を目標に施術での取り入れ方や香りの選定方法を実践して学びます。	2通	60		○	○			○	○
20	○			リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	1前・2通	135		○	○			○	○
21	○			ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15		○	○			○	
22	○			ヨガ・ピラティス	1年時はピラティスを中心に学びます。身体と精神のコントロールを体験しながら習得し、精神的疲労感を軽減する技術や知識を学びます。2年時はヨガを中心とした授業を学び、レベルに合わせたポーズの提案や正しい体感づくりについて指導ができるよう学びます。それぞれのポーズにおいてもより正確さと方法を伝授できるまでを目標とします。いずれもヨガ・ピラティスの運動による効果、効能や歴史などについても学び、それらを伝えられることも目標としています。	1後・2後	60		○	○			○	
23	○			スパトリートメント	アーユルヴェーダ、ロミロミを中心に技術習得していきます。エステティック技術の応用となる技術であり様々な技術の体感や実践を通してお客様に合わせたコースの提案ができるように学習します。また、フェイシャル技術では、世界のスパで使用する化粧品を使い肌別に効果を体験し、知識を深めていきます。	1後・2通	180		○	○			○	○
24	○			ボディリラクゼーション	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に技術披露のできる状態が目標となります。	2通	90		○	○			○	○
25	○			リラクゼーションサロン	2年時は様々な技術習得をしていく中、セラピストの技術は基本となるため継続して学習していきます。リラクゼーションサロン授業では、一般のお客様に技術提供を行います。運営を通して技術力の向上と接客力の向上を目指します。技術力、接客力の向上を目指すと共に入社後の即戦力となれる様、1日の働きの理解と習得を目指します。	2通	180		○	○			○	○
26	○			エステティック実習	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1通	90		○	○			○	○
27	○			エステティックボディ実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の身体悩みに合わせて提供することができるよう学んでいきます。	1後	60		○	○			○	○
28	○			エステティックフェイシャル実技	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認実技試験、資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の肌悩みに合わせて提供することができるよう学んでいきます。	2前	60		○	○			○	

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 8年 7月 31日※1
(前回公表年月日：令和 7年7月31日)

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																											
分野	認定課程名		認定学科名			専門士		高度専門士																									
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科（メイクアップアーティスト）			平成29年文部科学大臣 認定		-																									
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																																
認定年月日	平成30年2月28日																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																									
2 年	昼間	1710	465		1245	0	0	0																									
生徒総定員		生徒実員		留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数		総教員数																									
240		32人		0人	7人の内7人	37人の内26人		44人の内26人																									
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日				成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。																											
長期休み	■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月26日～1月5日 ■春 季：3月21日～4月10日				卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																											
学修支援等	■クラス担任制： 有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。				課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動																											
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） (株)コーセー、株式会社資生堂、エスティローダーカンパニーズ、 (株)エキップ、(株)ザ・コスモス 他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業者数 16 人 ■就職希望者数 15 人 ■就職者数 15 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93.8 % ■その他 ・進学者数： 2人 ・関係分野（メイク業界・エステ・ネイル）への内定100%（就職希望者） (令和 7 年度卒業者に関する 令和8年5月1日 時点の情報)				主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和7年度卒業者に関する令和8年5月1日時点の情報) <table><tr><td>資格・検定名</td><td>種別</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>日本メイクアップ技術 検定1級</td><td>③</td><td>16人</td><td>14人</td></tr><tr><td>日本メイクアップ 技術検定2級</td><td>③</td><td>10人</td><td>9人</td></tr><tr><td>日本化粧品検定1級</td><td>③</td><td>16人</td><td>11人</td></tr><tr><td>メイクセラピー検定1級</td><td>③</td><td>15人</td><td>13人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 ※1～ナ1				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	日本メイクアップ技術 検定1級	③	16人	14人	日本メイクアップ 技術検定2級	③	10人	9人	日本化粧品検定1級	③	16人	11人	メイクセラピー検定1級	③	15人	13人				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																														
日本メイクアップ技術 検定1級	③	16人	14人																														
日本メイクアップ 技術検定2級	③	10人	9人																														
日本化粧品検定1級	③	16人	11人																														
メイクセラピー検定1級	③	15人	13人																														
中途退学 の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 12.5 % 令和7年4月1日時点において、在学者38名（令和7年4月1日入学者を含む） 令和8年3月31日時点において、在学者35名（令和8年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難																																
	■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携（出席状況・成績通知）																																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付： 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無																																
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																																

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

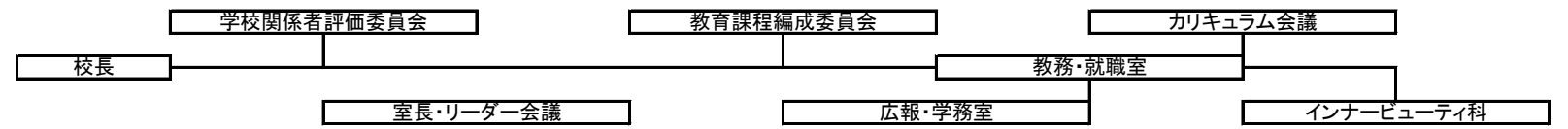
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

- ・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。
- 委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
- ・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を 提言する。

【学校組織図】アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ビアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)
・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))
【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 16:15～17:15
【令和8年度】第1回 令和8年9月9日 13:30～予定 第2回 令和9年3月26日 13:30～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- 化粧品検定対策授業強化
→1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。
さらに2年生ではより専門的な知識身に着け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。
- メイクカウンセリング授業強化
→心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に着けメイクセラピー検定1級取得を目指す。
- 検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー
→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。
- 就職室から教務就職室へと体制強化
→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。
教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。
- 日直制度導入
→自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実施。
3月18日第2回委員会でシラバス・授業内容の改善・検定合格率についての報告と企業連携科目の審議を実施。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。

授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。

授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り論議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になる、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間:令和6年5月 対象:ネイル職員1名

内容:ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイリスト協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間:令和6年6月 対象:ブライダル職員1名

内容:フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間:令和7年12月 対象:職員2名

内容:JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステティック職員2名

内容:実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

AEA認定校勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員2名 エステティック職員2名

内容:エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

②指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間:令和4年7月 対象:職員1名

内容:クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間:令和4年9月 対象:職員1名

内容:分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間:令和7年3月 対象:職員全体

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間: 令和7年5月 対象: エステ、ネイル職員2名

内容: エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間: 令和7年6月 対象: エステティック職員1名

内容: エステティック技術見学／サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間: 令和7年7月 対象: アロマ職員1名

内容: 耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間: 令和7年8月 対象: エステ職員2名

内容: AEA実技試験における試験官のスキルUP／AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間: 令和7年12月 対象: 職員1名・エステティック職員2名

内容: 学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間: 令和7年12月 対象: エステティック職員1名

内容: 認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

② 指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間: 令和5年8月 対象: 職員1名

内容: 新任教職員の指導・育成力を高める／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間: 令和5年9月 対象: 職員1名

内容: リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間: 令和5年8月 対象: 職員2名

内容: 専修学校における職業教育／専修学校のあり方と授業実践／学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間: 令和5年10月 対象: 職員8名

内容: 働く女性のためのカラダケア／ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を得得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育人人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 メイクアップアーティスト専攻)2026年度													
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	授業方法			場所		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○		○
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○		○
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1通	60	○			○		○
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○		○
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。 トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1通・2前	45	○			○		○
6	○			生理学	人を美しくし、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1通	30	○			○		○ ○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前	15	○			○		○
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○		○

9	○		化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分、メーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解します。 自分の目で多種多様なアイテムの中からお客様にあった化粧品を選ぶようになることが目的です。	1 後・2 通	45	○			○			○	
10	○		衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1 後	15	○			○			○	
11	○		サロンマネジメント&法規	サロン側のすべき言動、施術における顧客満足度を上げるためのカウンセリングの意味や方法、誤解のない技術提供をするにあたり、必要な法律について学びます。 また人が生活していくうえで安全に買い物や契約ができるルールを学び、美容業界の商品や契約上、必要なものや取扱い等を学びます。会社経営と接客方針に対して学び、法律を理解します。	2 後	15	○			○			○	
12	○		販売心理学	自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういうことでしょうか。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。	2 後	30	○			○			○	
13	○		エステティック実技理論	エステティックの歴史や各国のエステにはどのようなものがあるのかを知り、いろいろなエステの施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学び、また、ボディのお悩みの原因についても知識をつけていく。技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。	1 通	30	○			○			○	
14	○		薬膳入門	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることがカラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり自信を持つことが、周りの人をキレイにすることに繋がります。薬膳の専門用語を極力使わずに、わかりやすく薬膳の概要を学び、毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶので、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きます。	1 前	15	○			○			○	○
15	○		ビューティビジネス実務検定	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティコーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。	1 前	15	○			○			○	
16	○		化粧品検定	化粧品・美容に関する知識の向上を目指した検定です。 肌悩みに応じた化粧品やメイク方法だけでなく、紫外線・食事・運動・睡眠など美肌に影響を与える要因についての基礎知識を学びます。知識を高めることで、よりコスメを楽しむことができるようになり、お客様へのアドバイスの幅も広がります。資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポートをします。	1 後・2 後	45		○		○			○	
17	○		メイク&ヘアアレンジメント実習	メイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。更に基礎をベースに、より実践的な悩み対策やアドバイス方法、トレンドの応用テクニックを学びます。	1 通	90		○		○			○	○

18	○				ブランド	国内外様々な化粧品ブランドの歴史、商品へのこだわりや特徴を学び、知識を身に付ける事でメイク業界への知識を深め、実技や就職活動に活かす事を目的とします。	1 後	15		○		○				○	
----	---	--	--	--	------	---	--------	----	--	---	--	---	--	--	--	---	--

19	○			メイク	メイクの基礎をベースに、より実践的な悩み対策やトレンドの応用テクニックを学びます。決められた時間内に骨格に合わせたメイクを施せるよう、よりパーソナルなアドバイスを。作品作りに必要な技術力や知識、ヘアアレンジを学びます。	2通	90		○	○			○	○
20	○			ヘアアレンジ	ヘアセットの基礎と髪の毛の構造について学びます。ヘアセットはアイロンの巻き方、ホットカーラーの巻き方、ヘアアレンジなどを実習で習得します。1年次のヘアアレンジの基礎の復習とレベルアップを目指した応用実技を習得します。	2通	90		○	○			○	○
21	○			メイク検定対策	1年次は、JMA(メイク検定)3、2級合格に向けて学習します。技術はもちろん、相手に対しての気遣いやコミュニケーションがとれるようになることを目標としています。 2年次は、JMA(メイク検定)1級合格に向けて、様々なパターンのメイクが出来るよう学習します。	1後・2前	150		○	○			○	○
22	○			スタジオ撮影プロジェクト	作成した作品をコンテストへ出品することを目指しています。作品を作る過程を実践的に学び、撮影フローまで自ら考えることによって自主的に動ける人材になることが目的です。	2通	150		○	○			○	○
23	○			メイクカウンセリング	メイクセラピーの手法を学び、カウンセリングに必要な心理学や人間関係論、メイクアップに必要な印象分析とメイク理論、色彩学等の知識と技術を習得する。外見を美しくするのみでなく、受け手の心理的な援助ができるようなカウンセリングマインドの確立を目指す。	1後・2後	60		○	○			○	
24	○			エステティック実習	エステシャンに必要なものは「知識」「技術」「おもてなしの心」です。エステシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら、エステシャンとして必要な挨拶や敬語、ご案内委の仕方、接客中の対応、掃除等をサロン業務を学んでいきます。笑顔で積極的にコミュニケーションがとれる人材を育成します。更に機器などを使用し、技術やカウンセリング、分析力の向上を目指し、お客様に合う化粧品を選択やアドバイスが出来るよう習得します。	1通	120		○	○			○	
25	○			アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15		○	○			○	○
26	○			ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15		○	○			○	
27	○			リフレクソロジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15		○	○			○	○

28	○				ブライダル 概論	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1 前	15		○		○		○			
----	---	--	--	--	-------------	--	--------	----	--	---	--	---	--	---	--	--	--

29	○		ウェディング スタイリスト	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダルの 衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダル ビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。	1 前	30		○	○	○										
30	○		和装着付け	着物に関わる基礎知識や歴史から現在のブライダルで用いられる 和装の知識とともに実践では、浴衣の着付けを基礎から学び、最終 はモデルに施すことと浴衣に合わせたヘアメイクを施し和装のコー ディネイトを学びます。	2 前	45		○	○											
31	○		ネイル実習	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイル の専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・ JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分 野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかりと学習します。	1 通	105		○	○											
32	○		カラーデコレ ート	美容業界においてカラーを学習する意味を理解する。そこからまず 自分が人からどのように見られ、また自分はどのように見られたいの かを確認し、カラーによって印象を操作する方法を学ぶ。また、さま ざまな配色方法を学ぶことでそれぞれの分野で活用出来る知識を身 につける。また、さまざまな体型に合わせたコーディネートの色とデ ザインから考えることで、自分のなりたいイメージに合ったトータル コーディネートをすることが出来るようになる。	1 前・ 2 後	45		○	○											
33	○		パーソナルカ ラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について 総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を 客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パー ソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、カラー ージュ作成などを通して身に付け、表現力を養います。検定対策と して、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	2 後	30		○	○											
34	○		ショー対策 & コンテスト対策	そもそもファッションショーはどうやって作られているか？各会社の中 で、自身もイメージアップ、女性としての知識力向上ときれいな立ち 振る舞いをレッスンします。ショーでは、今まで学んだ内容を活かし、 発想力を高めチーム力を身に付けます。	2 後	15		○	○											
35	○		ビューティ プログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付け をすることで習慣化する。 社会人になった際の即戦力となるよう学習します。	1 通・ 2 前	60		○	○	○	○									
36		○	資格選択授業 アロマ検定	アロマセラピーについて必要な基礎理論と職場で役立つ知識、また 日常生活で安全に活用できる実践的な方法、試験内容に準じた授 業を行います。アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香り のエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ楽しみながらより 豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。様々な精油 の身体に対する働き、心に対する働き、皮膚に対する働きを学びま す。	2 後	45		○	○											
37		○	資格選択授業 ネイル検定	幅広い分野で活躍できるよう総合美容を目指しネイル技術を学習す る。主流となっているジェルネイルの知識と技術を習得し資格取得を 目指します。	2 前	45		○	○	○										
合計				37科目			1710	単位時間												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

- 2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全
(留意事項)
- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式４）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 8年 7月 31日※１
（前回公表年月日：令和 7年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																										
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																										
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																										
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																										
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																									
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科（ブライダルビューティ）			平成29年文部科学大臣 認定	-																									
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																															
認定年月日	平成30年2月28日																															
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																								
2 年	昼間	1710	450		1260	0	0	0																								
生徒総定員		生徒実員		留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
240		7人		0人	7人の内6人	37人の内24人	44人の内31人																									
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日				成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。																										
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日				卒業・進級条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																										
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。				課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動：有																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） 株式会社ベストアニバーサリー、プリモ・ジャパン株式会社、株式会社曽我、株式会社ヴァンドームヤマダ、株式会社ニューアート・シーマ その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業者数 6 人 ■就職希望者数 6 人 ■就職者数 6 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ： 100 % ■その他 ・進学者数： 0人 ・関係分野（ブライダル業界）への内定率83%（就職希望者） (令和 7 年度卒業者に関する 令和8年5月1日 時点の情報)				主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和7年度卒業者に関する令和8年5月1日時点の情報) <table><tr><th>資格・検定名</th><th>種別</th><th>受験者数</th><th>合格者数</th></tr><tr><td>ブライダルコーディネーター3級</td><td>③</td><td>6人</td><td>6人</td></tr><tr><td>日本メイクアップ 技術検定2級</td><td>③</td><td>6人</td><td>6人</td></tr><tr><td>ネイリスト技能検定3級</td><td>③</td><td>6人</td><td>4人</td></tr><tr><td>パーソナルカラー検定3級</td><td>③</td><td>6人</td><td>5人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 ※記入ナシ			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネーター3級	③	6人	6人	日本メイクアップ 技術検定2級	③	6人	6人	ネイリスト技能検定3級	③	6人	4人	パーソナルカラー検定3級	③	6人	5人				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																													
ブライダルコーディネーター3級	③	6人	6人																													
日本メイクアップ 技術検定2級	③	6人	6人																													
ネイリスト技能検定3級	③	6人	4人																													
パーソナルカラー検定3級	③	6人	5人																													
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 令和7年4月1日時点において、在学者38名（令和7年4月1日入学者を含む） 令和8年3月31日時点において、在学者35名（令和8年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携（出席状況・成績通知）																															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																															
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無																															
当該学科のホームページURL	https://aie-jhm.jp/aie/																															

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

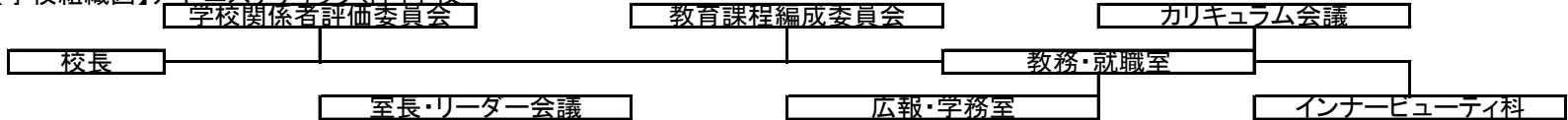
・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。

委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。

・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案

や新規導入を提言する。

【学校組織図】アイ エステティック専門学校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ピアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 16:15～17:15

【令和8年度】第1回 令和8年9月9日 13:30～予定 第2回 令和9年3月26日 13:30～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■化粧品検定対策授業強化

→1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。さらに2年生ではより専門的な知識身に付け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。

■メイクカウンセリング授業強化

→心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。

1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。

2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に付けてメイクセラピー検定1級取得を目指す。

■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー

→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。

また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

■就職室から教務就職室へと体制強化

→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。

教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。

更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

■日直制度導入

→自主性や自発性を身に付けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。
授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとにAからDの4段階評価を行う。
授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り議論する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味広がるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間:令和6年5月 対象:ネイル職員1名

内容:ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイル協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間:令和6年6月 対象:ブライダル職員1名

内容:フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間:令和7年12月 対象:職員2名

内容:JBCAについて/検定について/公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステティック職員2名

内容:実技試験における試験官のスキルUP/認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

AEA認定校勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員2名 エステティック職員2名

内容:エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間:令和7年3月 対象:エステティック職員1名

内容:認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編/有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

AEA上級認定エステティシャン

期間:令和7年3月 対象:アロマ職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

ダイエット検定

②指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間:令和4年7月 対象:職員1名

内容:クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける/リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間:令和4年9月 対象:職員1名

内容:分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計/学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間:令和7年3月 対象:職員全体

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間:令和7年5月 対象:エステ、ネイル職員2名

内容:エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間:令和7年6月 対象:エステティック職員1名

内容:エステティック技術見学／サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間:令和7年7月 対象:アロマ職員1名

内容:耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステ職員2名

内容:AEA実技試験における試験官のスキルUP／AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員1名・エステティック職員2名

内容:学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間:令和7年12月 対象:エステティック職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

②指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間:令和5年8月 対象:職員1名

内容:新任教職員の指導・育成力を高める／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間:令和5年9月 対象:職員1名

内容:リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間:令和5年8月 対象:職員2名

内容:専修学校における職業教育／専修学校のあり方と授業実践／学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間:令和5年10月 対象:職員8名

内容:働く女性のためのカラダケア／ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存
(10) 社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

〔ホームページ〕・広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL:https://aie-jhm.jp/aie/

公表時期: 令和8年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)教育理念・目標	ているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか
(5)学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6)教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

〔ホームページ〕・広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL:<https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 ブライダルビューティ専攻) 2026年度														
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員	
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1 通	30	○			○			○
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1 後・2 通	45	○			○			○
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1 通	60	○			○		○	
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1 通・2 通	60	○			○		○	
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。 トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1 通	30	○			○			○
6	○			生理学	人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないと働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1 通・2 前	45	○			○			○ ○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1 前	15	○			○			○
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1 前	15	○			○		○	

9	○		化粧品学	化粧品学では、化粧品の成分、メーカーや値段だけで選ぶべきでないことを学び、各化粧品の目的を理解します。自分の目で多種多様なアイテムの中からお客様にあった化粧品を選ぶようになることが目的です。	2 後	15	○			○			○	
10	○		衛生・消毒&救急法	美容業は、衛生・消毒に関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自身が感染したり、またお客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒の知識を身に付けます。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起ころうとも迅速な対処が出来るように救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。	1 後	15	○			○			○	
11	○		エステティック実技理論	エステティックの歴史や各国のエステを知り、様々なエステティックの施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学ぶ。また、ボディ・フェイシャルのお悩みに対する原因、肌や身体の分析の仕方や悩み別トリートメント対応・機器・自宅ケア・食事・生活面のアドバイスなどを学びます。また、カウンセリングの基礎や目的を学び、お客様に寄り添った接客が出来るよう指導をする。	1 通・2 前	45	○			○			○	
12	○		サロンマネジメント&法規	サロン側のすべき言動、施術における顧客満足度を上げるためのカウンセリングの意味や方法、誤解のない技術提供をするにあたり、必要な法律について学びます。また人が生活していくうえで安全に買い物や契約ができるルールを学び、美容業界の商品や契約上、必要なものや取扱い等を学びます。会社経営と接客方針に対して学び、法律を理解します。	2 後	15	○			○			○	
13	○		電気・機器学 & 美容脱毛学	皮膚や毛の構造、脱毛の歴史や電気脱毛の理論、自己処理のデメリットや脱毛技術を受けられない人・肌などの禁忌事項も学びます。エステティックに必要な電気機器や法規について学習し、また、美容電気機器を使用することで身体にどのような影響があるのかなど科学的根拠を学び、サロンにおいて使用する機器をお客様に説明することができるようになることが目標です。	2 後	15	○			○			○	
14	○		薬膳入門	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることがカラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり自信を持つことが、周りの人をキレイにすることに繋がります。薬膳の専門用語を極力使わずに、わかりやすく薬膳の概要を学び、毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶので、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きます。	1 前	15	○			○			○	○
15	○		ビューティビジネス実務検定	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティコーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。	1 前	15	○			○			○	
16	○		3級ブライダルコーディネーター検定対策	1年時から学んできたブライダル業界の歴史や基礎知識をもとに結婚式の企画や衣装、ジュエリー、ヘアメイク、演出、料理・飲物に至るあらゆる知識の理解を確認する目的の授業です。3級ブライダルコーディネーター検定資格取得を目標としています。	2 後	15		○		○			○	
17	○		エステ資格取得対策	AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティック試験センター技術力確認筆記試験合格に向けて模擬試験や問題の解説を実施。技術だけでなく、基礎知識の修得も条件となり、検定試験に合格することで自身が活躍できる幅を広げる事が出来ます。また、資格を持つ事によってお客様の「安心」につながり、「信頼」へと繋がります。	2 後	15	○			○			○	

18	○			ブライダル 概論	「挙式・披露宴」とはどのようなことをするのでしょうか。 こんな素朴な疑問を紐解きながら挙式披露宴の本質を理解し、未だ 体験したことのない挙式・披露宴の流れとその意味を学び、ウエディ ングの本質と魅力を考える授業です。 また、ブライダルの歴史を通して「結婚式」の変遷を考察し、現在のブ ライダル事情について学習していきます。	1 通 ・ 2 通	60		○		○		○			
----	---	--	--	-------------	--	-----------------------	----	--	---	--	---	--	---	--	--	--

19	○		ウェディング スタイリスト	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダル の衣装スタイリスト、ブライダルヘアメイク、カメラマン、空間デザイナー としてのテクニック、接客接遇、マナーを身につける。同時にブライダ ルビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。新郎新婦の 洋装・和装のヘアメイクのテクニックと、洋装の着付け、アテンドの基 礎知識を習得し、実践する。	1 通・ 2 通	135		○		○		○					
20	○		ウェディング プロジェクト	挙式候補者の募集から挙式当日までの期間スケジュールに基づいて 打ち合わせの進め方、式に必要な部門との手配方法、お客様への案 内方法を実践的に学びます。当日のウェディングサロン運営を実践 するための準備を進める授業です。実践を通して現場力を養うことを 目標としています。	2 通	75		○		○		○					
21	○		ドレス スタイリング	「結婚式」に纏うブライダル衣裳は花嫁にとって重要で、ブライダル衣 裳を選ぶ花嫁の想いは何にも変えられない特別なことです。ドレスス タイリストやブライダル衣裳に携わる仕事は、花嫁にとっての「人生で 大切な1日」の装いを体現するためにはなくてはならない重要な存在で す。自身が携わっている事がいかに花嫁にとって必要不可欠な存在 かを多方面から学び、仕事の奥深さや重要性を理解出来る人材を育 成します。前半でブライダル衣裳の歴史・種類・挙式スタイルやパー ティスタイルから見たドレス選び・小物の意味などを学びドレスフィッ ティングの実技と合わせて学んでいきます。後半では学んだことを基 にロールプレイングを行い実践していきます。「提案力」の基礎を作る と共に、ブライダルやウェディングドレス関連の業界で必要不可欠な 「創造力」を増やしていきます。回を重ねる毎に幅広い見解を身に付 けながら、お客様(相手)に「伝える」アウトプット力を身につけます。 非日常の「価値」を伝えていくという習慣をこの授業を通して体現し ていきます。	1 後・ 2 通	105		○		○		○					
22	○		和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、 着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで 必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めてい きます。和装に興味が広がるように指導します。	1 後・ 2 前	75		○		○				○	○		
23	○		エステティク 実習	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」で す。技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技 術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対 応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。 AEA認定エステティシャン資格取得のため、日本エステティク試験 センター技術力確認実技試験、資格取得が目標です。技術・知識・ア ドバイス・分析力の習得、検定での試験項目はカウンセリング力、技 術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目の基礎が求められ ます。	1 通・ 2 前	180		○		○				○			
24	○		ブライダル エステ	ウェディングプロジェクトと連動し1、2年で学んだエステティクの技術 と知識を披露する目的の授業です。ブライダル概論で深めた知識を 実践で施します。挙式までの期間に花嫁の悩みを技術を提供するこ とで解決することを目標としています。	2 後	30		○		○		○	○				
25	○		アロマベーシッ ク	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるため に最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、 ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロ マセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけ ます。	1 前	15		○		○				○	○		
26	○		ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪 い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガ を取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した 学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガ の哲学、歴史を学びます。	1 前	15		○		○				○			

27	○			リフレクソロジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1 前	15		○		○				○	○
28	○			メイク&ヘアアレンジメント実習	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。ウェディングプロジェクトと連動し、御新郎御新婦の雰囲気や衣装に合わせたヘアメイクの御提案、挙式当日のヘアメイクを担当します。	1 通・ 2 通	210		○		○				○	○

29	○			ネイル実習	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり学習します。	1 通	105		○	○										
30					ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。															
31	○			ブライダル ネイル	ウェディングには欠かせないウェディングネイルの知識を勉強します。幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり学び、必要なカウンセリング、チップ制作を目指し爪と指先の知識をしっかり習得していきます。そして、ジェル検定初級合格に向け勉強をしていきます。	2 前	45		○	○		○								
32	○			カラー デコレート	ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装で使われる水引、会場装飾を実際に作ることで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来ているかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウェディングブーケや水引の技術も習得していきます。ウェディングプロジェクトで必要な会場装飾の作成やブーケなどの小物の製作を目標としています。	1 前・2 後	45		○	○									○	
33	○			ライフケアカ ラー 検定対策	色彩の基礎から実践的な応用方法までを学習します。ブライダル業界で求められるカラーコーディネート技術を、カラーワーク実習を通して身につけ、衣食住(空間)へと活かせる力を養います。また、検定受験に向け、適宜問題集、小テスト(解説あり)を実施します。	2 前	30		○	○									○	○
34	○			パーソナルカ ラー 検定対策	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	2 後	30		○	○									○	○
35	○			ショー対策	2年間で学んだビューティに関わる知識や技術を自身で披露するための特別授業です。2年生は「ランウェイ」をウォーキングして参列者に披露するため、ウォーキング、ポージングの技術を学びます。また、パーティでの身だしなみ、振る舞い方やマナーを学び実践します。	2 後	15		○	○									○	
36	○			ビューティ プログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けをすることで習慣化する。社会人になった際の即戦力となれるよう学習します。	1 通・2 前	60		○	○	○	○								
合計					36科目					1710					単位時間					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。		1 学年の学期区分	2期
2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全て取得。		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式４）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 8年 7月 31日※１
（前回公表年月日：令和 7年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																						
アイ エステティック 専門学校		平成27年3月17日		川島 真人		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0071																						
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																						
学校法人中村学園		昭和41年8月15日		中村 洋子		〒260-0021 千葉市中央区新宿2-14-3 (電話) 043-242-0467																						
分野	認定課程名		認定学科名			専門士		高度専門士																				
衛生	衛生専門課程		インナービューティ科（ネイリスト）			平成29年文部科学大臣 認定		-																				
学科の目的	「ホスピタリティ豊かな人材育成と世界に通用する技術を備えた人材の育成」2点の理念をもとに美容関連分野において、その業界で活躍できる人材を育成するため、必要とされる資格取得を軸に実践的な知識、技術の習得を目的としている。																											
認定年月日	平成30年2月28日																											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1740	300		1410	0	0	0																				
生徒総定員		生徒実員		留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数		総教員数																				
240		34人		0人	7人の内6人	37人の内21人		44人の内27人																				
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日				成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 A～Dの4段階を原則としA～Cを認定、Dを不認定とする。																						
長期休み	■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月26日～1月5日 ■春季：3月21日～4月10日				卒業・進級 条件	1. 【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位数全て取得。 2. 指定した期日までに学費が納入されていること。																						
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 担任が随時学生と連絡をとり、個人面談、もしくは保護者との面談を行う。				課外活動	■課外活動の種類 SAM、ボランティア活動 ■サークル活動：有																						
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） 株式会社ライフビューティ、株式会社ノンストレス、株式会社ネイル ズユニークオブジャパン その他 ■就職指導内容 学生一人一人の特性に見合った職種及び企業の斡旋。また、企業研究や面接の個別指導。WEB面接の対策実施。 ■卒業者数 16 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数： 0人 ・関係分野（ネイル業界）への内定率100%（就職希望者） (令和 7 年度卒業者に関する 令和8年5月1日 時点の情報)				主な学修成果 （資格・検定 等） ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和7年度卒業者に関する令和8年5月1日時点の情報) <table><tr><td>資格・検定名</td><td>種別</td><td>受験者数</td><td>合格者数</td></tr><tr><td>ネイリスト技能検定1級</td><td>③</td><td>15人</td><td>10人</td></tr><tr><td>ジェルネイル技能検定上級</td><td>③</td><td>16人</td><td>16人</td></tr><tr><td>パーソナルカラー検定3級</td><td>③</td><td>16人</td><td>14人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 特になし			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	ネイリスト技能検定1級	③	15人	10人	ジェルネイル技能検定上級	③	16人	16人	パーソナルカラー検定3級	③	16人	14人				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																									
ネイリスト技能検定1級	③	15人	10人																									
ジェルネイル技能検定上級	③	16人	16人																									
パーソナルカラー検定3級	③	16人	14人																									
中途退学 の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 6.3 % 令和7年4月1日時点において、在学者32名（令和7年4月1日入学者を含む） 令和8年3月31日時点において、在学者30名（令和8年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 意欲喪失・進路変更希望・経済的困難 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任制による学生管理 ・カウンセラーの設置 ・保護者との連携（出席状況・成績通知）																											
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ・特待生制度(成績優秀者、学校貢献度により選抜) ひとり暮らし応援制度(一人暮らし支援) ■専門実践教育訓練給付： 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																											
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無																											
当該学科の ホームページ URL	https://aie-jhm.jp/aie/																											

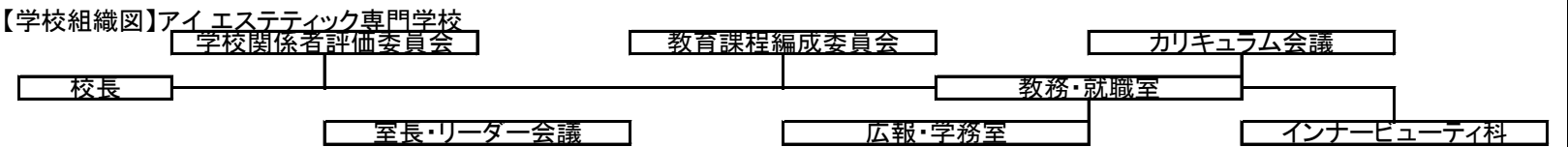
1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・教育課程編成委員会を年2回開催し、外部企業委員と次年度のカリキュラム改善・運営・評価などの意見交換をして授業方法の改善、工夫に生かす。
- ・年2回講師会議において企業からの派遣講師(非常勤講師)を招きビューティビジネスの業界最新動向を情報収集し、調査分析に努め、授業担当職員とのカリキュラム検討により業界の第一線で活躍できる人材教育の教育法を研究する。
- ・生徒の就職先企業、業界団体、資格・検定団体と関係を高め、連携を図ることで、各業界のニーズをとらえカリキュラムや授業運営に反映する。
- ・「教育課程編成委員会」において今後定期的な評価、改善を図っていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

・教務、就職室におけるカリキュラム会議(年2回程度)で検討・提案された教育プログラムを教務室長を通して「教育課程編成委員会」において審議する。
委員会からの助言、修正案を加味した最終案を「室長・リーダー会議」にて決議する。
・美容に関連する各業界の最新動向を調査、分析し各業界の第1線で即戦力として活躍できる人材教育の方法を研究し、現代社会に適した授業科目の改善案や新規導入を提言する。



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
芦田 貴子	一般社団法人JMA 副理事長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	①
田中 絵梨奈	ピアンカグループ 運営本部 副本部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
古藤 美奈	株式会社RAJA 営業本部部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)

- ・年2回開催する。開催時期については前期授業期間(4月から7月)終了後9月末までに1回、後期授業期間(10月から2月)終了後の3月までに1回開催し、同年度及び次年度以降の教育課程編成に活用する。

(開催日時(実績))

【令和7年度】第1回 令和7年9月30日 10:30～11:30 第2回 令和8年3月26日 16:15～17:15
【令和8年度】第1回 令和8年9月9日 13:30～予定 第2回 令和9年3月26日 13:30～予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■化粧品検定対策授業強化
→1年生後期より化粧品検定授業を導入。社会人になってから活躍する幅を広げる為に2級取得を目指し取り組んでいく。
さらに2年生ではより専門的な知識身に着け、化粧品の専門家を目指す1級取得を目指す。

■メイクカウンセリング授業強化
→心理カウンセリングの手法を取り入れたメイクアップ技法を習得し、カウンセリング力を養う。
1年生では心理学の理論を学びメイクセラピー検定2級取得を目指す。
2年生はオーダーカウンセリングを行う際に必要な理論と技法を身に着けメイクセラピー検定1級取得を目指す。

■検定合格率向上の取り組みと不合格者へのフォロー
→各検定の合格率を向上させるために授業欠席者には補講・課題などの個別取り組みを行うことで、検定試験受験前までに授業内容の理解度を高める。
また、不合格者へのフォローは苦手意識を払拭させる為に、授業外で改めて個別指導を入れ再受験合格を目指し取り組みを実施した。

■就職室から教務就職室へと体制強化
→姉妹校と連携とし、求人票の共有を行い学生へ活用していく。希望職種以外の求人票を収集し学生へ告知。
教務就職室として担任を中心に全職員が分担をして学生対応する事で、より密な対応が出来る体制へ。
更に今後は求人職種を広げて活用出来る様にしていく予定。

■日直制度導入
→自主性や自発性を身に着けた学生を育成するために日直当番制を導入。

9月20日第1回委員会で当科の教育内容(カリキュラム、シラバス)について説明、意見交換と次年度カリキュラムについて検討及び意見交換を実

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

当校の教育方針である「美容業界で必要とされる知識・技術を持った人材の育成」のもと美容の幅広い知識・技術を当校とつながりのある美容・健康系企業との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実施していく

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

講師派遣指導委託協定書に基づいて、専門分野の実習及び演習授業等を企業より派遣の講師が担当する。
授業内での技術試験及び筆記試験を総合して各科目ごとでAからDの4段階評価を行う。
授業内容確認と反省における打ち合わせを担当教員、講師間で行う。また、年2回講師会議を開催し各専門分野の分科会を実施し、授業運営、内容について共有を図り協議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
薬膳入門	カラダの中から整えて、キレイに、元気になれる薬膳の知識を学びます。食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。毎日の生活の中に落とし込みながら学び、体調や体質に合わせた食事や生活の知識を身に付けることを目的とします。	株式会社Food and LIFE
リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。JHRS主催のリフレクソロジープロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。	株式会社ボディワークアカデミー
パーソナルカラー検定対策	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学習します。自分の似合う色を確認しながら、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。色彩の基本、パーソナルカラーの基礎から取り入れ方まで、カラーワーク演習、コラージュ作成などを通して身に着け、表現力を養います。検定対策として、適宜問題集や小テスト(解説あり)を実施します。	色彩活用研究所株式会社
和装着付け	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、着物のたたみ方から浴衣での自装、又ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味を広げるように指導します。	株式会社アンズガーデン
メイク・ヘアアレンジ	ヘアアレンジでは基礎を学び、コテを使用した巻き方や編み込みアレンジやブライダルヘアアレンジとテーマに合わせたヘアアレンジを考え、モデルでの実践的な実習を行う。また、ヘアメイクの種類や必要なスキル・やりがい・業界について学び、韓国・中国・タイのメイクポイントの技術を習得する。	株式会社イストマネジメント

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・学校研修については当校の教育方針において「ホスピタリティ」と「業界で必要とされる技術・知識」の項目を掲げており、時代の流れを察知し、常に業界の現場で「即戦力」として活躍できる意思と能力をもった人材を育成していくことが求められる。研修は業界見学を主とし、業界の話題性を掴んだ内容を追及している。同時に学生と同様の見学を実施し、カリキュラムの改善に活かすことを目的としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

ジェル検定初級試験官養成講座

期間:令和6年5月 対象:ネイル職員1名

内容:ジェル検定初級試験官養成講座 日本ネイリスト協会

フォーマルスペシャリスト検定2級

期間:令和6年6月 対象:ブライダル職員1名

内容:フォーマルウェアの高度な専門知識と接客サービスを学ぶ 一般社団法人日本フォーマル協会

JBCA認定教員オンライン研修会

期間:令和7年12月 対象:職員2名

内容:JBCAについて／検定について／公式テキストの要点解説 NPO法人日本ビューティー・コーディネーター協会

AEA認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステティック職員2名

内容:実技試験における試験官のスキルUP／認定講師のスキル・指導力を上げる 一般社団法人 日本エステティック業協会

AEA認定校勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員2名 エステティック職員2名

内容:エステティシャンに必要なヒューマンスキル～学校管理者が語る教育理念・教育方針～ 一般社団法人 日本エステティック業協会

認定美容ライト脱毛技術者講習会

期間:令和7年3月 対象:エステティック職員1名

内容:認定美容ライト脱毛エステティシャン上級編／有効性と安全性・安全管理の応用・カウンセリング 日本エステティック振興協議会

AEA上級認定エステティシャン

期間:令和7年3月 対象:アロマ職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

ダイエット検定

②指導力の修得・向上のための研修等

リスクマネジメント(クレーム対応)

期間:令和4年7月 対象:職員1名

内容:クレーム基本概念を理解し対応力、問題解決能力を身に付ける／リスクマネジメントの基本 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

体系的カリキュラム・シラバス作成

期間:令和4年9月 対象:職員1名

内容:分かり易く効率的に学べるカリキュラム・シラバスの設計／学習目標の明確化/課題分析 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

期間:令和7年3月 対象:職員全体

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

ビューティに関する業界動向による研修

期間:令和7年5月 対象:エステ、ネイル職員2名

内容:エステティック、ネイル業界の動向、製品・サービス・情報・技術の確認 ビューティワールドジャパン事務局

エステティックグランプリ見学

期間:令和7年6月 対象:エステティック職員1名

内容:エステティック技術見学／サロン運営 エステティックグランプリ事務局

耳つぼジュエリー講習

期間:令和7年7月 対象:アロマ職員1名

内容:耳つぼプラン/基本のツボ/実技レッスン/衛生について/イヤーマッサージ法/カウンセリングシート記入例 SBG(R)協会

エステティック試験官勉強会・認定講師勉強会

期間:令和7年8月 対象:エステ職員2名

内容:AEA実技試験における試験官のスキルUP／AEA認定講師のスキル・指導力を上げる 日本エステティック業協会

エステティック認定講師勉強会

期間:令和7年12月 対象:職員1名・エステティック職員2名

内容:学校教員が語る教育理念・教育方針 一般社団法人日本エステティック業協会

AEAインターナショナルエステティシャン

期間:令和7年12月 対象:エステティック職員1名

内容:認定講師資格取得に必須の資格として、ボディ・フェイシャル実技、筆記試験を受験 一般社団法人 日本エステティック業協会

②指導力の修得・向上のための研修等

新任指導力(メンタリング)

期間:令和5年8月 対象:職員1名

内容:新任教職員の指導・育成力を高める／新任の能力を引き出すためのメンタリング力をつける 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

リスクマネジメント研修

期間:令和5年9月 対象:職員1名

内容:リスクマネジメントの基本/クレーム対応基本手順/対応留意点 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団

新任職員研修

期間:令和5年8月 対象:職員2名

内容:専修学校における職業教育／専修学校のあり方と授業実践／学生、教員の為の実践心理 一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会

ストレスマネジメント研修

期間:令和5年10月 対象:職員8名

内容:働く女性のためのカラダケア／ストレスとの上手な付き合い方を考え、適切な対処法 一般社団法人コーポレートウェルネス研究会

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

- ・学校関係者として、地域住民とともに、企業から委員が参画した「学校関係者評価委員会」を設置し評価を実施する。
- ・学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし、教育活動その他の学校運営の総合的な状況について評価を行う。
- ・評価結果を広く保護者や地域住民に公表することにより、透明性の高い評価、開かれた評価となるようにする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・専門分野との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか ・海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存
(10) 社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

早期インターンシップの活用で新卒採用の増加を目指したい。
早期インターンシップは就職のミスマッチを防ぐためにも必要に感じている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校 教諭	2025年4月1日～2027年3	高校関係
西坂 翼	株式会社スリムビューティハウス 常務取締役	2025年4月1日～2027年3	企業等委員
牧島 智法	株式会社 ボディワークアカデミー 部長	2025年4月1日～2027年3	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

〔ホームページ〕・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

公表時期: 令和8年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

- ・就職担当を配置し、求人情報の獲得の中で、企業への説明を行う。
- ・本校を会場とした企業向け学校説明会や企業説明会を実施する等、企業を招待し授業や実習の情報を発信を行うとともに業界情報の収集を行い学校運営に活用していく。
- ・ホームページにて各情報公開を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)教育理念・目標	ているか ・学校における職業教育の特色は明確になっているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか
(2)学校運営	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ・経営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
(3)教育活動	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・講義及び実習に関するシラバスは作成されているか ・学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか ・適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか ・カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか ・講義に関し美容関連協会推奨のカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・実習に関し、美容関連協会推奨カリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか ・講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか ・企業実習(インターンシップ)を推奨し、希望者が企業実習(インターンシップ)を実施できる体制を整えているか ・学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか
(4)学修成果	・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・入学者に対する卒業率はどうか ・在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか ・学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか ・教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか ・企業実習(インターンシップ)について、実習先に実習評価を依頼し、学生にフィードバックしているか

(5) 学生支援	・進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援体制は整備されているか ・保護者との連携は適切か ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6) 教育環境	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・防災に対する体制は整備されているか ・実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか ・美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか ・自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか ・学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ・実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか ・国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか ・学納金は妥当か ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか
(8) 財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報の公開の体制整備はできているか
(9) 法令等の遵守	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか ・教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか ・評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか ・教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方等が書類として存在するか
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を図っているか ・学修成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

〔ホームページ〕 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <https://aie-jhm.jp/aie/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程インナービューティ学科 ネイリスト専攻)2026年度															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	授業方法		場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		兼任
1	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの精神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。ホスピタリティでは、心理学の知見を応用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性を学びます。また、人と人との関わりの中で他者を理解、受容し上手な交流の在り方を学び、将来顧客対応をする学生の接客スキル向上を目指します。	1通	30	○			○		○		
2	○			ITコミュニケーション	日常業務において、ワープロソフトや表計算ソフトを用いた情報処理や、インターネット利用の技能は、必要不可欠となっています。Windowsの基本操作から始めて、インターネットとビジネス文書作成を学習します。	1後・2通	45	○			○			○	
3	○			業界・就職ガイド	エステティック・リラクゼーション・メイク・ブライダル・ネイルなどの各業界について、その業界で働く人達からの話を聞き、多くの情報を収集し自分の適正とマッチングする職業に就くことが出来るように理解を深める。また、今後の就職活動に向け、後期からのからきめに向け、希望職種の内容を把握した上で、専攻選択にも役立てる。	1通	60	○			○		○		
4	○			イベントプロモーション	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。	1通・2通	60	○			○		○		
5	○			皮膚科学	皮膚の構造を知り、働きを知ることでトラブルのおきない肌にするための知識を学ぶ。 トラブル肌に関しての知識を高め、様々なお悩みを抱えるお客様の肌トラブルに対してのお手入れやホームケアアドバイスが出来るよう習得する。	1前	15	○			○			○	
6	○			生理学	人を美しく、身体のコンディションを整えるためには、身体の内部の構造を知らないとは働きかけることができません。骨や筋肉や内臓機能などの解剖生理学、脳、神経系やストレスなどの心身生理学、運動などの身体活動に対する運動生理学などの各分野の基礎知識を学びます。	1前	15	○			○			○	○
7	○			栄養学	栄養学は心身の健康と美容を提供するのに必要な知識となり、肌へのトラブルは食生活のコントロールがうまくいかないことからの影響も考えられる。そのために体の内側から健康的に美しくなるための栄養学の基礎を学ぶ。	1前	15	○			○			○	
8	○			東洋・西洋セラピー	実際に店舗で行われている東洋・西洋の様々なメニューの知識を身につけ、応用技術に対応できる学習を目標としています。幅広い知識を習得することでお客様に合わせたアドバイス・コース提案力を身につけ、学内サロンの運営に活かします。	1前	15	○			○		○		

9	○		エステティック 実技理論	エステティックの歴史や各国のエステを知り、様々なエステティックの 施術・マッサージの効果や化粧品の成分、効果についてを学ぶ。ま た、ボディ・フェイシャルのお悩みに対する原因、肌や身体の分析の 仕方や悩み別トリートメント対応・機器・自宅ケア・食事・生活面のアド バイスなどを学びます。 また、カウンセリングの基礎や目的を学び、お客様に寄り添った接客 が出来るよう指導をする。	1 前	15	○		○	○								
10	○		薬膳入門	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中か らのケア、毎日の食事、生活を整えることがカラダとココロの美人、インナー ビューティーへの近道です。キレイになり、元気になり自信を持つことが、周り の人をキレイにすることに繋がります。薬膳の専門用語を極力使わずに、わ かりやすく薬膳の概要を学び、毎日の生活の中に落とし込みながら学ぶの で、自分の体調や体質に合わせた食事や生活の工夫の知識が身に付きま す。	1 前	15	○		○				○	○				
11	○		ビューティビジ ネス実務検定	美容サロンへ就職するために必要なビジネススキルと、ビューティ コーディネーターの基礎知識、美容サロンで働くうえでの美容基礎知 識を網羅する。高い知識とカウンセリングスキルで、お客様に適した 美容施術や商品をコーディネートし提案する力を身につける。	1 前	15	○		○			○						
12	○		ネイル実習	美容にはネイルの知識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの 専門知識が要求されます。その為、JNECネイリスト技能検定3級・ JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。皆さんが幅広い分 野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり学習します。	1 通・ 2 通	255		○		○					○			
13	○		ネイル検定 対策	ネイルケア&カラーリングの基礎をしっかり身につけることを目標にし、JNEC 技能検定試験3級だけでなく、2級の合格基準となる完成度を理解し、目標タ イム内で仕上げましょう。ジェルネイルに必要な基礎知識と技術を学びます。 総合的な技術力と専門知識を身につけ、ネイリスト技能検定試験の最高位の 資格取得を目指します。検定試験の合格基準を理解し技術の向上をはかり ます。	1 後・ 2 通	360		○		○			○	○				
14	○		イクス テンション	ナチュラルネイルが折れたり、欠けたり、薄くなった場合にラップ材な どで修復・補強する方法、またネイルチップを用いて長さを出す技法 を習得する	1 後・ 2 通	180		○		○			○	○				
15	○		カラーリング	カラーリングはポリッシュだけでなく、ジェルネイルにおいても重要な 技術です。 お客様に満足して頂けるような仕上がりを目指します。	1 後	45		○		○			○	○				
16	○		アート	様々なアートの技法を学び組み合わせも併せて学びます。基礎から 応用テクニックを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適な デザインの提案ができることを目標としています。	2 通	90		○		○			○	○				
17	○		ネイル皮膚学	爪は皮膚と密接な関係にあります。爪について正しく理解するには、 皮膚に関する知識が必要不可欠です。多くのネイルトラブルは、爪を 取り囲む皮膚のトラブルによって引き起こされるからです。お客様の 爪の健康を守るために、正しい皮膚の知識を身につけられるよう学習し ます。	1 後	15		○		○			○					
18	○		資格取得対策	JNEC技能検定試験、JNAジェルネイル検定では、実技試験と筆記試 験、両方の合格が必須です。模擬試験と解説を実施するとともに、爪 に関する専門的な知識を身につけ、カウンセリングが実践出来るよ う、専門知識の幅を広げることを目標とし、技術と知識のバランス力を つけます。	1 後	15		○		○			○					

19	○			ネイルサロン運営	授業で学んだ技術を一般のお客様に提供する特別授業です。代金をいただき外部のお客様に技術提供をすることで現場力を養います。1人のお客様を決まった時間内にカウンセリングから自宅でのアドバイスまで接客することやトラブル時の対応なども実践して学びます。また、来店頂く大切さや再来につなげるための工夫なども実践すること学びます。	2通	120		○	○	○	○							
20	○			エステティック実技	エステティシャンに必要なものは「知識」・「技術」・「おもてなしの心」です。エステティシャンの技術を中心に接客やマナーの基礎を実践しながら学びます。技術の他に、接客者として必要な挨拶やご案内の仕方、施術中の対応、掃除を通じて、サロン業務全般を学んでいきます。また、授業を通じて挨拶や敬語ができ、笑顔で積極的にコミュニケーションが取れる人材育成をします。	1前	60		○	○			○						
21	○			アロマベーシック	アロマセラピーとは何か、香りを通して心身の健康に作用させるために最低限必要な使用方法、知識、禁忌事項を学びます。化粧水、ルームコロンなどクラフト作成ができるよう自宅でも手軽に行えるアロマセラピーを学ぶことで、ビューティの仕事に役立つ知識を身につけます。	1前	15		○	○					○	○			
22	○			ヨガベーシック	ヨガの良さを体感しながら学びます。ヨガを行うことで体のゆがみや悪い癖を正し「美しく、良い姿勢」を作れることを目標とします。また、ヨガを取り入れることで精神的にも安定できるため、心身ともに安定した学校生活を送れることも期待できます。検定に対応したポーズやヨガの哲学、歴史を学びます。	1前	15		○	○					○				
23	○			リフレクソロジー	反射学と訳されるリフレクソロジーは、手や足に全身が映し出されていると考えられ、手や足を刺激することで本来持っている自然治癒力を高めることを目的としたセラピーです。そのために必要となる理論や歴史を中心に学びますが、手軽に技術を提供することが可能であるため、前期に基本となる技術を習得します。長期休暇時のボランティアなどで即実践が可能な技術となっています。今後習得する技術との併用も可能なため、技術のバリエーションを広げます。	1前	15		○	○					○	○			
24	○			メイク&ヘアアレンジメント実習	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を学びます。相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。	1前	45		○	○					○	○			
25	○			ブライダル概論	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。	1前	15		○	○					○				
26	○			ウェディングスタイリスト	接客の心構えを学び、「結婚」に関する知識を習得し、ブライダルの衣装スタイリストとしてのテクニックを身につける。同時にブライダルビジネスへ興味や希望をもって臨める自信をつける。	1前	30		○	○					○				
27	○			カラーデコレート	ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装で使われる水引、会場装飾を実際に作ることで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来ているかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウェディングブーケや水引の技術も習得していきます。ウェディングプロジェクトで必要な会場装飾の作成やブーケなどの小物の製作を目標としています。	1前・2前	45		○	○					○				

28	○			パーソナルカラー 検定対策	パーソナルカラー3級を取得目標とする授業です。似合う色の活用法や、診断ポイント、色彩の基本を学習します。メイクの仕事は店舗で働く際に、お客様にそれぞれに合った色選びや色の組み合わせなどのスキルを求められます。そういった場面でも役立つ基本知識を学びます。	2 前	30		○		○				○	○	
29	○			ビューティ プログラム	ビューティの仕事に就くための基礎を身につけ、継続的に意識付けをすることで習慣化する。 社会人になった際の即戦力となれるよう学習します。	1 通・ 2 前	60		○		○	○	○				
				卒業要件及び履修方法					授業期間等								
合計				36科目					1710	単位時間							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1.【卒業】卒業基準時間を履修し科目毎に認定を受ける。卒業基準時間とは、合計1710単位時間である。 【進級】1年次総授業時間数/既定の総単位時間数全て取得。 2.指定した期日までに学費が納入されていること。既定総授業時間数、及び既定の総単位時間数全て取得。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。